

長野県飯田市野底川小水力発電に対する地域理解促進のための啓発・広報事業

1. 補助事業の目的

野底川小水力発電事業計画について住民参加型の発電事業として実施していくためには、当該発電事業について、その背景も含めてより広く住民に理解していただく必要がある。

本補助事業を行い、野底川における地域小水力発電事業やその背景（気候変動やエネルギーの地産地消など）についての理解を深めてもらうことにより当該発電事業に対する理解を促進し、地域住民と協働した水力発電事業の開発促進を図ることを目的とする。

2. 補助事業の概要

(1) 事業者名

おひさま進歩エネルギー株式会社

(2) 事業期間

令和2年8月31日～令和3年3月1日

(3) 対象地域

長野県飯田市

(4) 対象地域の状況

長野県飯田市は県南部の中心自治体（人口約10万人）で、他地域と同様に人口減少、少子・高齢化が進行し持続的な地域づくりが大きな課題となっている。

市内には一級河川天竜川に注ぐ河川が多数あり、県営水力、中部電力株式会社のダム発電、マイクロ小水力発電などが存在する。対象の野底川小水力発電所を計画している野底川も天竜川に注ぐ一級河川で、飯田市上郷地域の農業用水源となっている。

(5) 対象発電所

水系・河川名	天竜川水系 一級河川 野底川
発電所名	野底川小水力発電所
事業者	おひさま進歩エネルギー株式会社
出力	340kW

3. これまでの取り組み状況と課題

本事業予定地の地権者は野底山財産区、また予定地に近接する野底山森林公園は上郷地域の住民が管理を担っているなど、地域との関わりも深い。そのため、野底川小水力発電事業では、飯田市の地域環境権条例を適用して住民団体と共同事業を実施、収益の一部を地域に還元して地域の方に主体的に活用頂くことを計画の土台としている。

このような背景もあり、構想当初の平成29（2017）年より地域住民、ステークホルダー及び飯田市に、開発工程の節目ごとに必要な了承を頂いてきたが、説明対象者が住民のなかでもごく一部に留まっているのが現状で、住民参加を含めた地域小水力発電事業の全体像や意義に対する理解には至っていない点が課題となっている。

4. 実施概要

(1) 地域住民を対象とした講演会の実施

- 講演会「電気も地産地消へ！上郷の電気事業史から見る地域の小水力発電の可能性」
- 講師：上郷史学会会長 中島正韶氏、全国小水力利用推進協議会事務局長 中島大氏
- 実施日：2020年11月3日

(2) 県内の小水力発電の先進事例の視察の実施

- 視察先：長野県企業局の「くだもの里まつかわ発電所」（長野県松本市）と三峰川電力株式会社の「新宮川発電所」（長野県駒ヶ根市）の2カ所
- 実施日：2020年12月13日

(3) 講演会や視察時に活用できるように、小水力発電の仕組みやその有用性、気候変動の影響を分かりやすく伝える広報物（展示用パネル、リーフレット、動画）の制作



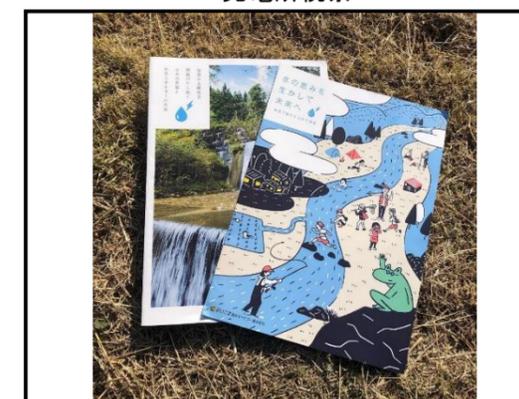
講演会



発電所視察



展示用パネル



リーフレット

5. 得られた効果

以下の点について、地域住民の認知度や理解度の向上につながり、小水力発電事業に対する理解が得られ始めており、事業開始時に目標としていたことを達成することができた。

- ・エネルギーの地産地消の実現や地域経済の活性化など小水力発電が地域にもたらすメリットの理解度
- ・小水力発電の仕組みや、設備規模などへの認知度
- ・地域において小水力発電への取組むことが可能で、野底川でも事業可能性のあることへの理解度